

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 6 年 12 月 17 日 (火)
クラス名(年齢)	ぱんだ組(3 歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

さつま芋のつるに触れリースを作る

<テーマの設定理由>

「さつま芋のつるはどうなっているの?」という子どもたちの疑問から、さつま芋のつるに触れ興味や関心を広げ「作る」ということを楽しみ「できた」喜びを感じられるようにした

2. 活動スケジュール

さつま芋のつるに触れて形や色や長さに興味や関心をもつ。
さつま芋のつるを使ってクリスマスリース作りを楽しむ。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・さつまいものつる・ブルーシート・どんぐり、まつぼっくり・ボンド・制作シート・リボン・お皿
- ・ミラーレスカメラ

4、探究活動の実践

<活動内容>

さつま芋のつるに触れて友達や保育士と感じたことを伝えあう。
自然物を使ってクリスマスリース作りを楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① さつま芋の苗植え、収穫を経験し「さつま芋のつるってどうなっているの?」という疑問からさつま芋のつるに触れてみることにした。子どもたちは、つるの長さにはびっくりし長さを比べていた。 	② 芋の葉っぱの形にも気づき、「葉っぱの形がハートだよ」と発見する姿が見られた。つるを乾燥させリースを作ってみようと提案し、自分で好きなリースを選び付けたい自然物をそれぞれ選んだ。 
③ ボンドを使って付けることにし、自分のリースに自由に飾り付けをして楽しんだ。白いボンドの色が変わっていく様子に気づく子どももいた。 	④ 自分たちで作ったリースを友達や保育士に見せ、「可愛くできたよ」と喜び楽しむ姿が見られた。老人ホーム「良友園」にもプレゼントした。 

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今まで芋ほりだけの体験だったが、子どもたちが芋のつるの長さには驚いたり、葉の形にも興味や関心を向けられるよう関わったことで、葉の形は植物によって違う事がわかったり気づきや発見がたくさん見られた。散歩で拾ったどんぐりや松ぼっくりなどを使ったリース作りでは、どのくらいボンドをつけるとつくことや、飾る場所を自分で考えて行い楽しみ、完成させ「できた」をたくさん経験できたので良かった。興味や関心が様々な活動につながりを持ち行えた。できた喜び発見した喜びが心を豊かにしている事を感じた。